

第5回津別町議会臨時会『行政報告』

はじめに、屈斜路カルデラトレイルヒグマ出沒対応訓練についてありますが、6月24日に開催された津別町・美幌町・大空町に係る警察、消防、自治体、北海道猟友会各支部、観光協会及びオホーツク総合振興局等の関係機関による合同訓練に参加いたしました。

この訓練は、トレイルルート上に出沒したヒグマにハイカーが襲われたことを想定し、自治体単位で組織されたグループが、通報者からの事情聴取により現場等の状況を把握し、ヒグマの駆除と負傷者の救助を行うものであります。訓練には総勢81名が参加し、道警ヘリコプターによる上空からの負傷者の捜索・救助訓練も行われる大規模なものとなりました。7月30日には実務者による検討会が開催され、訓練の検証について活発な意見交換が行われたところです。

屈斜路カルデラトレイル（通称KCT）は、雄大な景色を望むトレイルルートとして徐々に利用者が増えている一方、25kmに及ぶ長距離のルート上における事故等への速やかな対応が課題であることから、今後も救助体制の構築とともに、遭難事故や野生動物による人身事故の防止に向けて、KCTに関係する各機関と連携を

より強めて参ります。

次に、町有林 J-クレジット創出に係る連携協定の締結についてありますが、当該クレジット認証・販売業務の委託を進めております株式会社ステラグリーン代表取締役社長 なかむらあきのり 中村彰徳氏と 6 月 27 日に連携協定に係る調印式を執り行いました。

連携協定の内容につきましては、森林資源等の有効活用により、カーボンニュートラルの実現に向けた各産業領域の活動に資する取組を推進することを目的としており、町有林におけるカーボンクレジットの創出を通じ、脱炭素社会の実現に対する貢献と、持続的な一次産業の推進、地域資源の活用が図られ、本町における積極的な森林整備と木質バイオマスの活用へのアピールにつながることを期待するところであります。

次に、南アルプス市長の来町についてありますが、つべつ夏まつりの開催に合わせ、7 月 6 日、かねまるかずもと 金丸一元南アルプス市長が来町されました。まつり会場内の南アルプス市物産コーナー等視察され、つべつ夏まつりのメインステージにて両市町長の挨拶の後、当日は猛暑日予報の中でしたが、物産販売で来町していた市職員とともに、昼食会として焼肉コーナーでつべつ和牛等を堪能していただき、夜にはランプの宿森つべつにおいて歓迎会を開催いたしました。翌

7日には役場庁舎と南アルプス市との交流のきっかけとなりました株式会社Kニットツベツを訪問されたほか、津別峠展望施設等町内視察をされ、特に津別町の自然環境は南アルプス市に勝るとの感想を述べられておりました。

今後におきましても両市町間における交流事業を継続し、姉妹都市のつながりを深めて参る所存であります。

次に、**高齢者に対するお祝いについて**であります。7月14日 ^{つちだよしこ}に土田芳子様が100歳の誕生日を迎えられましたことから、今後とも益々のご健勝を願い、記念品を贈り祝意を表したところです。

次に、**ヒグマの駆除状況について**であります。7月31日現在で有害鳥獣駆除によりヒグマ24頭を捕獲し、年度別駆除捕獲頭数について記録が残る平成21年度から最多であった昨年度の捕獲頭数22頭を超えたところです。ヒグマの有害鳥獣捕獲期間は11月30日までであることから、今後においても捕獲頭数は増えるものと思われます。

ヒグマの出没については多数の情報が寄せられており、6月20日8時20分頃、21世紀の森学習展示館付近においてヒグマが目撃され、キャンプ場方向に逃げた可能性が高いことから、21世紀の森周辺施設を6月22日まで閉鎖しました。7月30日の午前中

には、木樋地区において住宅敷地内の家庭菜園でヒグマが作物を食害した痕跡が確認されたところです。これらの出没情報に対して、必要に応じ猟友会にパトロールを要請し、警戒体制をとるとともに、町民への一斉メール送信とホームページへの掲載による注意喚起を行っているところです。

ヒグマについては、福島町において7月12日早朝、市街地で新聞配達員がヒグマに襲われ死亡する痛ましい事件が発生するなど、連日ヒグマに関する情報が報道に取り上げられており、出没に対する適正な対処が求められているところです。

今後におきましても、ヒグマに係る注意喚起の徹底と、猟友会との一層の連携強化を図り、被害の防止に努めて参ります。

次に、**学校給食センターの落成式**についてであります。8月1日、ご来賓及び関係者約40名が参列し、式典を開催いたしました。

式典では、高橋道議会議員及び鹿中町議会議長よりご祝辞を頂戴した後、小中高生の代表とともにテープカットを行い、新たな施設の落成を祝ったところであります。なお、式典の終了後には施設内見学を行い、学校給食衛生管理基準に基づくドライ方式を導入した最新の設備や導線をご覧いただきました。

今後におきましては、本センターの基本理念に基づき、「安全・安

心でおいしい給食の安定提供」、「地場産食材の活用」などを柱とし、栄養教諭や調理員と連携を図り、町内の児童生徒の健やかな成長を支える学校給食の提供に努めて参ります。

なお、今議会におきまして、補正予算等の議案を提出いたしますので、慎重にご審議の上、原案にご協賛賜りますようお願い申し上げます。行政報告といたします。